

1 開会 進行：生涯学習課藤原係長

2 あいさつ 大北教育長
井上委員長

*資料の確認 藤原係長より説明

3 議事 令和3年度事業の実績及び令和4年度計画案について

- | | |
|-----------------|----------------|
| (1) 生涯学習課 | 河端課長より説明 (18分) |
| 公民館 | 友澤館長より説明 (5分) |
| (2) 文化スポーツ課、美術館 | 金井課長より説明 (10分) |
| (3) 教育センター | 橋本所長より説明 (4分) |
| (4) 図書館 | 伊藤館長より説明 (4分) |
| (5) 市民協働課 | 小田課長より説明 (2分) |
| (6) 人権推進課 | 平井課長より説明 (4分) |

【質疑応答】(25分)

(井上委員長)

・以上、それぞれの所管課から説明を受けた。ここで質問や意見を伺いたい。

(西田委員)

- ・垣根隊をやらせていただいております、青山では、老人クラブがお互いにやっぴこうという事で、各クラブで当番をしている。ただ、最近、老人クラブも高齢化が進んでおり、私の住んでいる青山でも4～5年前までは10数人いたが、現在は数名になってしまった。今後、垣根隊の減少の実態を把握しながら、増やしていくことが必要であると思う。
- ・また、垣根隊をやってきて嬉しいことがある。6年生の児童から長い間お世話になったというお礼を言われたり、イオンでバイトをしている2、3人の方にお礼を言ってもらった。以上、意見として述べさせていただきます。

(橋本所長)

- ・2年間ほどコロナウイルス感染症拡大防止の観点から、意見交換会が開催できておらず、本当に申し訳ない。高齢により続けたいができないという方もおられる。そういう中でも諦めないで垣根隊の必要性を訴えていき、何とか人を増やしていきたい。

(國井委員)

- ・そのことに関連することだが、私は三木市の交通指導員をしており、本日研修会があった。その研修会で、児童が集団登校せずに1人1人バラバラで登校していることが見受けられ、心配だという声があった。集団登校するように学校では指導しているのか。

(奥村委員)

- ・基本的には児童は集団登校するように学校では指導しており、安全面と高学年が低学年の面倒を見るという心の育成の面がある。ただ、様々な子どもがおり、特別な支援が必要な場合が増えている。朝起きることができないとか、家庭で両親が朝早く仕事に行くため、自分で学校に行く準備などをしなければならないという課題を抱えている。

・また、本人自身も列に入りにくいという子どももいる。緑が丘東小学校では、4～5人がポツンと来るが、担任と保護者には話をしている。また、垣根隊の方にお世話をいただいて、一緒に学校に来ている。多様性の結果、保護者とも連携をとって指導している状況である。

(國井委員)

・様々な事情があることがよくわかった。

(石田委員)

・先ほど教育長からオンライン授業の実施について話があったが、新聞を読んでいると学力が下がったということを聞いている。三木市の実態はどうか。また、タブレットは小学生、中学生の全員に行き渡っているのか。

(橋本所長)

・タブレットは小学生、中学生の全員に貸与している。オンライン授業で学力が下がったということは、どの新聞かわからないが、現在、三木市では学級閉鎖やコロナで学校へ行けない子どもに、担任が授業をしている様子をオンラインで流している。今まで、保護者や子どもの反応は、休んでいても授業を受けることができ、進度がわかって安心であるという声を聞いている。ただ、オンラインが全てではないと思っており、全てのことはできないし、限界もあると思う。そのあたりを見極めながら、やっていきたいと考えている。

(石田委員)

・学力が10%下がっていると新聞で読んでいる。三木市ではその感覚はないのか。全く同じであるというのであればそれで良いが、その点はどうか。

(橋本所長)

・学力が下がるというほどの頻度でオンライン授業は行なっておらず、学力に影響するまでには至っていないと考える。

(石田委員)

・承知した。もう一つ、委員長のあいさつで話があったが、ウクライナの問題について小学生だとロシアとウクライナとの人道上の問題については少し早い気がするが、中学生にもなれば、今なぜ戦争が起きているのか、実際に子どもたちにどのような説明を学校でしているのか、それぞれの校長先生に実態を伺いたい。

(奥村委員)

・小学校では、ソビエト連邦の歴史背景までは説明できない。様々な考えはあると思うが、力で人の心は動かさない、というところに視点を置いて話をしている。私の場合は、ウクライナの土地での具体的な話はせず、どのような場合も力で人の心を動かそうとしてはいけないと指導している。

(梅田委員)

・中学校においても、具体的な指導はしていない。立場は難しいので教育的な立場でこのことについての説明はしていない。どういう方針で行うか明確になった段階で指導に当たっていききたい。現時点では、直接的な指導は行っていないという状況である。

(石田委員)

・全く中学生に対して先生が何も言わないというのはおかしいのではないか。なぜ起きているのか、歴史が大きく関係する。何も子どもに教えないということ自体、問題ではな

いか。

(梅田委員)

・それについては、様々な考えはあると思うが、本校ではそのような対応をしている。

(石田委員)

・先生に対して、子どもからの不満はないのか。ウクライナのことを毎日テレビで放送しているのに、先生が何も言わないことが問題ではないか。

(梅田委員)

・個人的には教師が色々なことを言っていると思うが、もちろん、駄目であるということはある。しかし、色々な立場上の問題がある。

(西田委員)

・ここでの議論は難しいと思う。教育委員会の指針がはっきりと学校に伝わっていれば良いが、教育委員会の指針も具体的に出ていないので、先生も対応が難しいのではないか。

(奥村委員)

・一番子どもたちにとって大切なことは、暴力や武力、高圧的な態度では、人の心は動かさないとことをウクライナの事案によって、子どもたちが実感することだと思う。

(石田委員)

・小学生は良いが、中学生はそういうわけにはいかない。

(奥村委員)

・小学生も中学生も同じである。発達段階は違うが、子どもたちに身につけさせたい本当の力というのは、そういうところである。

(石田委員)

・学校が子どもたちに言わないので、子どもたちの関心が政治に向かない。子どもたちが幼くなる。

(奥村委員)

・実態として、三木東中学校では募金活動をしている。ウクライナのために戦争を助長するためのものではなく、苦しんでいる、困っている人達の力になって、少しでも役立つように活動をしている。そこが教育だと思う。

(石田委員)

・人道的にかわいそうではなく、今、なぜ戦争が起きているのかを教えることが必要だと思う。

(奥村委員)

・教育では、自ら学ぶことを重要視している。石田さんのおっしゃっているのは、小学校・中学校の義務教育を基盤としたそれ以上のことだと思う。力で人の心を動かさないということが基本である。

(井上委員長)

・それぞれの学校単位で教えるのは不可能だと思う。プーチンの考え方がわからない。それぞれの国がどう手を出せばよいか、どう話をすればよいか、手探りの状態である。そこで、学校で理由付けをした説明が出来ない。今の戦争が完全に収まり、そういう部分が徐々にわかってから子どもたちに初めて説明が出来る。今のウクライナの関係が出て、それぞれの教育委員会の中の、色々な分野で戦争について教えている。人権教育では、戦争は最大の人権問題であることを教えている。

(石田委員)

- ・なぜ、戦争が起きたのかを子どもたちに関心を持たせていないことが問題である。小学生は人道的な問題で良いが、中学生に対し、義務教育では教えることが出来ないということが疑問である。

(井上委員長)

- ・なぜそういうことが起きているのか誰にもわからない。マスコミが色々言っているが、どれが正しいかわからない。

(石田委員)

- ・疑問であるということであればそれで良い。途中経過なのだから仕方がないところもあるが、中学生に対し、先生が何も言わないことが疑問である。

(梅田委員)

- ・何も言わないということではなく、学校としての指導はしていないということである。

(井上委員長)

- ・子どもたちには大きな課題として、教育委員会としても、今後どういう指導が良いのか検討していただきたい。
- ・それでは、約束の時間になったが、もう1点だけ誰か質問はないか。

(岩崎委員)

- ・タブレットを子どもたちに貸与しているが、ケースだけ各家庭で準備するように言われた。予算のこともあると思うが、セットで準備できなかったのか。

(橋本所長)

- ・ケースも同時購入を検討したが、タブレットの購入時期により、大きさの違う2種類になり、大きさをまとめられなかったため、ケースについては保護者の皆様をお願いすることになった。
- ・また、ケースは消耗品で、返却いただいても再利用が出来ないので、各家庭をお願いした。その効果もあり、タブレットの故障は少なかった。

(井上委員長)

- ・これで会議を終えたい。新型コロナの中、大変な思いで各部署・公民館が工夫をしながら活動をされていることに敬意を表したい。まん延防止等重点措置が解除されても油断はできない。気を引き締めて各所管事項について推進をしていただきたい。
- ・それでは事務局に進行をお返しする。

4 その他

藤原係長より説明（4分）

- ・令和4年度東播磨・北播磨地区社会教育委員協議会事業予定について
- ・令和4年度兵庫県社会教育委員協議会関連日程予定について
- ・旧吉川支所の交流スペース愛称の募集の件について

5 閉会

あいさつ

山本副委員長より

～午後4時40分終了～

記録者 口吉川町公民館 友澤館長